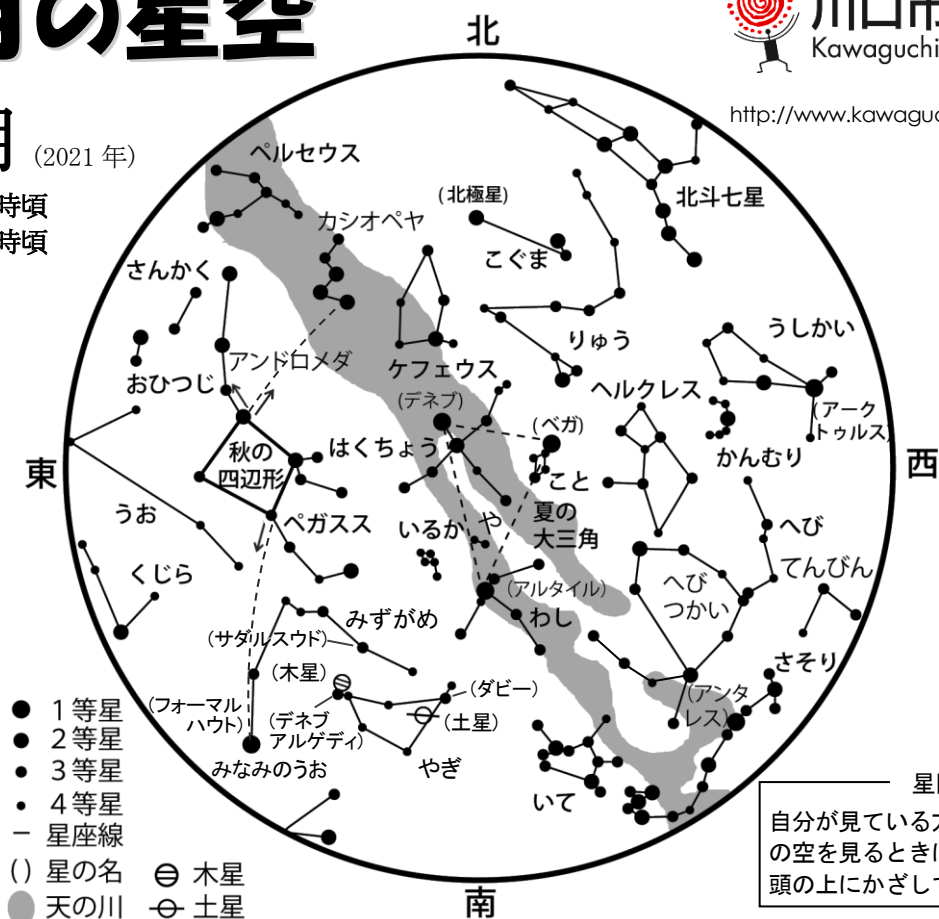


今月の星空

9月 (2021年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方向を下にして、(西の空を見るときは西を下にして持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ● 新月 7日、◐ 上弦 14日、○ 満月 21日、◑ 下弦 29日

惑星情報 金星 夕方 南西(おとめ→てんびん座 -4等) 木星 夜のはじめ頃 南東(やぎ座 -3等)
土星 夜のはじめ頃 南東→南(やぎ座 0→1等)

★秋の四辺形と木星・土星が目印の秋の星座

頭上には、存在感のある夏の三角とそこを通る天の川がありますが、この天の川の東側には秋の星座が広がります。まず見つけたいのは、秋の四辺形です。これらの星は2等台の明るさなので市街地からでも見つけられます。この4辺を頼りにすれば、星図のように、北側にアンドロメダ座やカシオペヤ座、南側に1等星のフォーマルハウトをたどることができます。また、今年は明るい木星と土星が目印となって、やぎ座やみずがめ座も見つけやすいでしょう。

★今年の「中秋の名月」(21日)は8年ぶりの満月

21日は旧暦8月15日にあたり、「中秋の名月」です。十五夜とも呼ばれ、今年ちょうど満月に当たります。実は、満月と同日になるのは、2013年以來8年ぶりなことであり、中秋の名月と満月が一致しないことはしばしばあります。

<新月の14日後の中秋の名月と15日後の満月>

中秋の名月は、新月の日(旧暦8月1日)の14日後と決まっているのに対して、月-地球-太陽の位置関係で決まる「新月→満月」にかかる日数は、月の公転軌道が楕円のため、一定ではありません。大まかにいうと、「満月」は、新月のタイミングから、およそ15日後(14.8日後)となり、単純に比較すると1日ずれが生じます。そのため、満月が中秋の名月の翌日や2日後になることもあります。



※科学館では天文台で撮影した中秋の名月をホームページでライブ配信する予定です。

コラム~ギリシャ神話で見る、やぎ座に集う木星・土星~ やぎ座の姿は一般に、上半身はやぎ、下半身は魚という不思議な姿で描かれています。これは羊飼いの神パーン(以下、パーン)の姿とされてます。神々が集まる酒宴の最中、突然襲ってきた怪物から逃れようと近くの川に飛び込んだ際、魚に変身し損ねたというエピソードが由来です。今年、夜空を見上げると、このエピソードの酒宴を連想させるかのように、パーンの近くには、最高神ゼウス(木星)やゼウスの父クロノス(土星)が集まり、加えて、神々にお酒をつぐ美少年ガニメデスの姿(みずがめ座)もあります。天の川はパーンが飛び込んだ川かもしれません。